

日本学術会議公開シンポジウム

エイジ・ フレンドリー な地域社会 の実現

参加無料

対面 | 先着100名
オンライン | 先着1000名
オンデマンド配信

対面・
オンライン
(後日オンデマンド配信有)



ー住民主体・住環境・データ活用を統合する学際的アプローチー

本分科会の活動報告と見解書の紹介

森山美知子

日本学術会議 第2部会員
高齢者の健康・生活分科会委員長
広島大学大学院医系科学研究科

健康・生活委員会 高齢者の健康・生活分科会の活動

令和6年度から7年度にかけて、意思表示に向けて、
課題を話し合う

第1回会議	令和6年3月14日
第2回会議	令和6年5月22日
第3回会議	令和6年7月30日
第4回会議	令和6年10月28日
第5回会議	令和8年4月1日

公開シンポジウム（第1回） 令和7年3月1日



令和7年度：意思表示と学術フォーラムに向けての準備



令和8年6月18日：見解書の発出



日本学術会議主催学術フォーラム

高齢者に優しいまちづくり ～現場・自治体から学ぶ～

日時：令和8年2月7日（土）13:00～16:00

参加費無料

場所：日本学術会議講堂（ハイブリッド開催）オンライン配信あり
東京都港区六本木7-22-34

事前参加登録をお願いします

申し込み締切 1/31

申し込みフォームURL <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0348.html>



「エイジフレンドリーシティ」は世界保健機関（WHO）が提唱する、すべての世代が安心して暮らせる地域づくりを目指す国際的なネットワークです。本フォーラムでは、都市部と過疎・高齢化が進む地域の先進的な取り組みを紹介し、「なぜ実現できたのか」「何がまだ足りないのか」「他の地域へどう広げるか」をテーマに、自治体・地域団体・アカデミアが一体となって議論します。

日本の未来を見据えた、持続可能なまちづくりのヒントを探ります！

次 第

コーディネータ 森山美知子（日本学術会議第二部会員／広島大学大学院医系科学研究科教授）

総 司 会 藤岡 謙矢（日本学術会議連携会員／東京大学高齢社会総合研究機構機構長／東京大学未来ビジョン研究センター教授）
伊崎賢 優治（日本学術会議連携会員／東亜義塾大学名誉教授／一般財団法人住宅・建築SDG推進センター理事長）

13:00 開会の挨拶・趣旨説明 森山美知子（日本学術会議第二部会員／広島大学大学院医系科学研究科教授）

13:10 概要紹介『エイジフレンドリーシティについて』
神田 美希子（WHO西太平洋事務局WPRO: Healthy Environments and Populationsデグニカルリード）

事例紹介

13:25 『神奈川県内のエイジフレンドリーシティの取り組み』

筒井 勇貴（神奈川県政府のち・未来戦略本部国際戦略グループ）

熊澤 大輔（神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター研究員）

後藤 純（東京大学建築都市学部 准教授／UCOD（アーバンデザインセンター小田原）副センター長）

秋山 弘子（東京大学名誉教授／高齢社会共創センター長／鎌倉市政策推進専門委員）

14:15 『奈良県天川村（地方部）の取り組み』

山崎 聡（奈良県高野郡天川村議会議員）

14:30 『広島県呉市（島嶼部）一般社団法人まめなの取り組み』

更科 安香（一般社団法人まめなのFounder）

14:45 『自治体保有データとオープンソースデータの融合解析による政策立案事例』

佐藤 栄治（宇都宮大学地域デザイン科学部建築都市デザイン学科教授）

15:00 休憩

総合討論

15:15 総合司会 藤岡 謙矢（日本学術会議連携会員／東京大学高齢社会総合研究機構機構長／東京大学未来ビジョン研究センター教授）

伊崎賢 優治（日本学術会議連携会員／東亜義塾大学名誉教授／一般財団法人住宅・建築SDG推進センター理事長）

15:55 閉会の挨拶 須田 木緒子（日本学術会議連携会員／東海大学社会学部社会学科教授）

16:00 閉会

主催：日本学術会議

お問い合わせ 日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当 TEL 03-3403-6295

発出した「見解」と分科会メンバー

見 解

エイジ・フレンドリーな地域社会の実現
 —住民主体・住環境・データ活用を統合する
 学際的アプローチ—



令和8年（2026年）6月18日

日 本 学 術 会 議
 健康・生活科学委員会
 高齢者の健康・生活分科会

日本学術会議健康・生活委員会高齢者の健康・生活分科会

委員長	森山美知子	(第二部会員)	広島大学大学院医系科学研究科教授
副委員長	住居 広士	(連携会員)	広島国際大学総合リハビリテーション学部客員教授
幹 事	飯島 勝矢	(連携会員)	東京大学高齢社会総合研究機構機構長・未来ビジョン研究センター教授
幹 事	伊香賀俊治	(連携会員)	慶應義塾大学名誉教授／一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター理事長
	秋下 雅弘	(第二部会員)	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターセンター長
	荒井 秀典	(第二部会員)	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター理事長
	磯 博康	(第二部会員)	国立健康危機管理研究機構国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター長・理事長特任補佐
	奥野 恭史	(第二部会員)	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻ビッグデータ医科学分野教授
	玉腰 暁子	(第二部会員)	北海道大学大学院医学研究院教授
	岩澤 美帆	(連携会員)	国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部長
	鹿嶋小緒里	(連携会員)	広島大学IDEC国際連携機構ブラネタリーヘルスイノベーションサイエンスセンター (PHIS) センター長／広島大学大学院先進理工系科学研究科准教授
	金子 周一	(連携会員)	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科特任教授
	神吉紀世子	(連携会員)	京都大学大学院工学研究科建築学専攻教授
	須田木綿子	(連携会員)	東洋大学社会学部社会学科教授
	田高 悦子	(連携会員)	北海道大学大学院保健科学研究院教授
	長澤 夏子	(連携会員)	お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系教授／東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻教授
	中村 桂子	(連携会員)	東京科学大学名誉教授
	佐藤 栄治	(連携会員(特任))	宇都宮大学地域デザイン科学部建築都市デザイン学科教授

「見解」の発出に際し、ご協力いただいた方々（多くは本日の発表者）

本見解の作成に当たり、以下の方々に御協力いただいた。

山川みやえ	大阪大学大学院医学系研究科統合保健看護科学分野老年看護学准教授／ 日本学術会議連携会員
山田あすか	東京電機大学未来科学部建築学科教授／日本学術会議連携会員
曾我部勇貴	神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室国際戦略グループ
秋山 弘子	東京大学名誉教授／高齢社会共創センター長／鎌倉市政策創造専門委員
更科 安春	一般社団法人まめな Founder
山端 聡	奈良県吉野郡天川村議会議員
福田 治久	九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座准教授・総合コホートセ ンター准教授

本見解の作成に当たり、以下の職員が事務を担当した。

事務局	郷家 康德	参事官（審議第一担当）
	加瀬 博一	参事官（審議第一担当）付参事官補佐
	實川 雅貴	参事官（審議第一担当）付審議専門職

重ねてきた議論（知見の共有）→これが「見解書」の骨子に

- ✓ 日本の人口の変化を予測し、
- ✓ 新たな住民主体による健康長寿に向けたまちづくりを示す
- ✓ 枠組みに「エイジ・フレンドリー・シティ」を活用

10年～30年後、50年後の
高齢者をめぐる変化
—人口規模／構造変化の観点から—

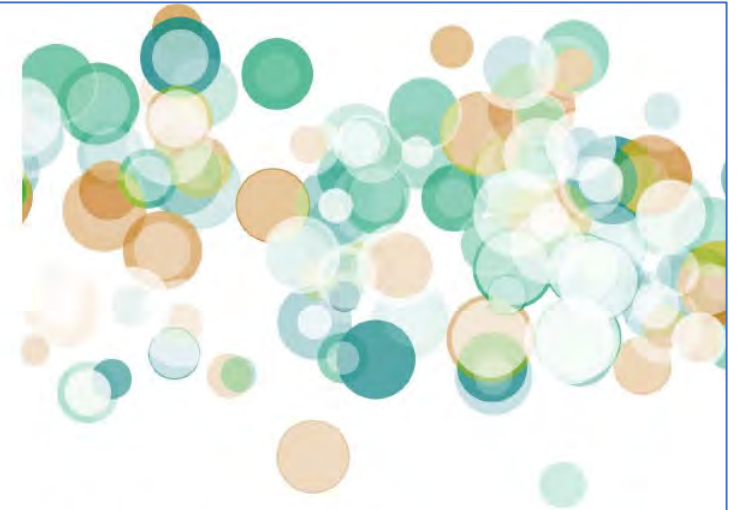
国立社会保障・人口問題研究所
人口動向研究部長
岩澤美帆

第26期 第3回

1. 分析レベル（マクロ～メゾ～ミクロ）の三つの視点
2. 高齢者ケアにおける各レベルの現状と課題：介護保険制度を題材に
3. まとめ

須田 木綿子（東洋大学）

Age Friendly
Cities/
Environment
高齢者にやさし
いまちづくり



中村桂子 東京医科歯科大学国際保健医療事業開発学分野教授
Director, WHO Collaborating Centre for Healthy Cities and Urban Policy Research
日本学術会議 第2回高齢者の健康・生活分科会（第26期）
2024年5月22日 オンライン

✓ 住環境（住内外の環境）改善による高齢者の健康・生活支援

高齢者の健康と生活を支える 住宅環境の改善に向けて



伊香賀 俊治

日本学術会議連携会員／慶應義塾大学名誉教授／
一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター理事長



農山村地域において高齢居住者の力を受け継ぐー自治体施策として

神吉紀世子

（京都大学・工・建築 都市・農村計画 日本建築学会農村計画委員会）

データからみる 高齢者の健康・生活に関する課題

長澤 夏子 NAGASAWA NATSUKO
nagasawa.natsuko@ocha.ac.jp

お茶の水女子大学 基幹研究院 教授
共創工学部人間環境工学科

✓ データ活用と医療・健康DX

- ◆ データサイエンティストの配置と総合的な行動計画立案
部署の設置
- ◆ 高齢者を見守り、ニーズに対応する仕組みの構築
- ◆ DX環境の整備

高齢者の健康・生活分科会 話題提供 2024年10月28日

医療DXと高齢者の健康・生活

金子周一
金沢大学大学院情報医学開発講座

健康関連ビッグデータ解析 Health-related Big Data Analysis

中国東南大学交通学院 首席教授

張峻屹 | ZHANG Junyi

(ちょう しゅんきつ)

zjy890321@seu.edu.cn

✓ 産官学民連携の推進

AIによる 生活習慣病の発症予測と予防戦略

京都大学 大学院医学研究科
理化学研究所 計算科学研究センター
奥野 恭史

日本学術会議公開シンポジウム
高齢者の健康と生活に与える環境の影響: 学際領域の研究成果を融合

データを活用して地域住民の 生活上の安全と安心を守る/ DX化の推進 睡眠から始める健康管理

大阪大学大学院医学系研究科老年看護学研究室
公益財団法人浅香山病院
山川みやえ



見解書の要旨

エイジフレンドリーシティは、世界保健機関（WHO）が2010年に立ち上げた、高齢者に優しい地域づくりに取り組む自治体等の国際的なネットワーク

超高齢社会の進行と地域コミュニティの希薄化を背景に、高齢社会政策は、高齢者を支援の対象として捉える発想から、あらゆる人々が生涯を通じて地域社会に参画し、互いに支え合う住民主体・地域参加型モデルへの転換が求められている。その基盤となるのが、人とのつながりや社会参加、自己決定を通じて実現される「幸福長寿」の考え方である。

幸福長寿社会の実現には、住環境・移動環境・地域活動の機会を、参加と包摂を支える社会的基盤として整備するとともに、医療・介護・福祉・人口動態・移動等の多様なデータを活用し、科学的根拠と住民の経験知を融合した政策形成を進めることで、地域固有の課題に応じた持続可能な社会づくりにつながる。本見解では、住民主体のまちづくり、住環境改善、医療DX、産官学民連携の4つの視点から、「健康長寿」から「幸福長寿」への転換と包括的AFC実現の推進について示す。

。



図 エイジ・フレンドリー・シティ
8つの主要ドメイン（出典 World Health Organization 2023[27]日本語訳中村桂子氏追加）

- (1) 新たな住民主体による健康長寿に向けたまちづくり
 - ・フレイル予防を通したまちづくりの重要性
- (2) 住環境（住宅内外の環境）改善による高齢者の健康・生活支援
 - ・歩行しやすい安全な交通・歩道の環境、公共交通
 - ・近隣農地や就労の場の質的整備等、高齢者の社会参加を促す環境の整備⇒地域の特性に合わせたまちづくりとともに推進
- (3) データ活用と医療・健康デジタルトランスフォーメーション（DX）
 - ・データを活用した政策立案
- (4) 産官学民連携の推進

ホームページからダウンロードできます！



アクセス サイトマップ English



アクセス サイトマップ English

HOME

About SCJ

提言・報告

イベント

委員会活動

地域等との
連携

国際活動

会員・
連携会員

協力学術研究
団体

日本学術会議 トップページ > 提言・報告等 > 見解

提言・報告等【見解】

※ファイルはすべてPDF形式です。

2026

決定（公表） 年月日	名 称	表出の主体	議決された会議
2026-6-18	エイジ・フレンドリーな地域社会の実現－住民主体・住環境・データ活用を統合する学際的アプローチ－	健康・生活科学委員会高齢者の健康・生活分科会	科学的助言等対応委員会

NEW

ポイント